

## 森元良太・田中泉吏『生物学の哲学入門』刊行記念 「哲学で探る生物学の世界」フェアブックリスト

「生物学の哲学」は多くの人にとって聞きなれない分野だろう。しかし、その名前から明らかなのは、これが哲学の一分野だということである。哲学はおよそあらゆるものを考察の対象にし、対象ごとに異なる哲学分野が存在する。知識の哲学や心の哲学などがそうである。知識の哲学は知識を、心の哲学は心をそれぞれ対象としている。そして、生物学の哲学は生物学を考察の対象とする哲学分野である。

ただし、生物学の哲学は「生物についての哲学」ではない。生物そのものを考察の対象とした哲学は古くからあるが、生物学の哲学ではあくまでも生物学という学問分野に主眼がおかれる。たとえば、遺伝子や種などの生物学で用いられる概念や、進化論や自然選択説(自然淘汰説)といった生物学の理論や仮説を考察の対象とする。そしてこれらの概念や理論の分析を通じて生物学がこの世界について何を語っているのかを明らかにすることや、異なる生物学分野のあいだの関係性について考察することなどが、生物学の哲学の課題に位置づけられる。興味関心が「生命とは何か」のような問題にある場合も、生物学の哲学者は生物学というレンズを通して生命を眺め、そうした問題に答えようとする。

——「序章」より

# 生物学の哲学入門

森元良太・田中泉吏

日本人筆者による初の「生物学の哲学」入門書。  
生物学を哲学的に学び、生物学を通じて哲学を学べる  
一石二鳥の最新版教科書。(森元)

● 定価: 本体2,400円+税 2016年8月刊行  
A5判上製228頁 ISBN978-4-326-10254-9 C3010 (勁草書房)



## 進化論はなぜ哲学の問題になるのか 生物学の哲学の現在 (勁草書房)

松本俊吉 [編著]

進化論に関連する哲学的問題に挑んだ、哲学者と生物学者による書きおろし論文集。(森元)

## ダーウィンと進化論の哲学 (勁草書房)

日本科学哲学会 [編] 横山輝雄 [責任編集]

ダーウィン進化論と現代生物学をめぐる日本人著者による哲学的論考を収めた本格的論文集。(田中)

## 進化論の射程 生物学の哲学入門 (春秋社)

エリオット・ソーバー / 松本俊吉・網谷祐一・森元良太 [訳]

生物学の哲学の代表的な教科書。進化論と創造論の対立や適応主義の問題など、生物学の哲学の問題に緻密な議論で立ち向かう。(森元)

## セックス・アンド・デス 生物学の哲学への招待 (春秋社)

キム・ステレルニー、ポール・E・グリフィス / 太田紘史・大塚淳・田中泉吏ほか [訳]

刺激的なタイトルとは裏腹に生物学の哲学の代表的な教科書として知られる。進化生物学だけでなく分子生物学から進化心理学まで幅広く平明に解説する。(田中)

---

## 入門 科学哲学 論文とディスカッション (慶應義塾大学出版会)

西脇与作 [編著] 源河亨・古賀聖人・田中泉吏ほか [著]

個性的な論文の数々とディスカッションを通して科学哲学の現場を知ることのできる画期的な入門書。(田中)

---

## 科学哲学 なぜ科学が哲学の問題になるのか (春秋社)

アレックス・ローゼンバーグ / 東克明・森元良太・渡部鉄兵 [訳]

生物学の哲学は科学哲学の一分野。科学哲学をはじめするにはこの本がおススメ。素朴な問いから科学の奥深くを掘り下げる。(森元)

---

## 生命起源論の科学哲学 創発か、還元的説明か (みすず書房)

クリストフ・マラテール / 佐藤直樹 [訳]

還元と創発をめぐる長年の論争に生命起源論の文脈から新鮮な切り口で挑む若きフランス人科学哲学者マラテール渾身の著作。(田中)

---

## 生物学の歴史 進化論の形成と展開 (放送大学教育振興会)

横山輝雄

科学史・科学哲学者による生物学の歴史本。ダーウィンはもちろん、ラマルクや社会生物学論争、日本における進化論まで切りこむ。(森元)

---

## 種の起原 上・下 (岩波文庫)

チャールズ・ダーウィン / 八杉龍一 [訳]

生物学に科学革命を起こした不朽の古典的著作。(田中)

---

## ダーウィンとデザイン 進化に目的はあるのか? (共立出版)

マイケル・ルース / 佐倉統・土明文・矢島壮平 [訳]

進化論を古代ギリシャ以来の西洋思想史のなかに位置づけ、その特徴を浮き彫りにする。(田中)

---

## ダーウィンの危険な思想 生命の意味と進化 (青土社)

ダニエル・C・デネット / 山口泰司・大崎博・斎藤孝ほか [訳]

還元主義で何が悪い? 心の哲学で名を馳せたデネットがダーウィン進化論の神髄に肉薄する。(田中)

---

## 系統樹思考の世界 (講談社現代新書)

三中信宏

生物だけでなく無生物の歴史を描くときにも用いられる系統樹。その作成法、思考の歴史、そして哲学まで考察する。(森元)

---

## 過去を復元する 最節約原理、進化論、推論 (勁草書房)

エリオット・ソーバー / 三中信宏 [訳]

手持ちのデータからいかに過去を復元するのか。系統樹作成法の背後に潜む哲学を明らかにする。(森元)

---

## 遺伝学概説 (培風館)

J・F・クロー / 木村資生・太田朋子 [訳]

遺伝学の権威ジェイムス・クローの本。訳者は中立説の木村資生に太田朋子。なんと贅沢な本。(森元)

---

---

## 生物進化を考える (岩波新書)

木村資生

分子進化の中立説の提唱者木村資生が一般向けに書いた進化論の本。この本を読まずして進化を語るべからず。(森元)

---

## 確率の出現 (慶應義塾大学出版会)

イアン・ハッキング／広田すみれ・森元良太 [訳]

進化論には確率が不可欠。確率概念はどのように出現し、なぜ主観と客観の二分化が続くのかを詳細に分析する。(森元)

---

## 偶然を飼いならす 統計学と第二次科学革命 (木鐸社)

イアン・ハッキング／石原英樹・重田園江 [訳]

近代統計学はダーウィン進化論の数学化のなかで誕生した。ダーウィンの従弟フランシス・ゴルトンの偉業を科学史・科学哲学の観点で分析するところを読みどころ。(森元)

---

## 利己的な遺伝子 増補新装版 (紀伊國屋書店)

リチャード・ドーキンス／日高敏隆・岸由二ほか [訳]

今年は出版から40周年。もはや説明は不要だが、生物学の哲学を長年刺激し続けてきた世界観は今でも新鮮。(田中)

---

## ワンダフル・ライフ バージェス頁岩と生物進化の物語 (ハヤカワ文庫)

スティーヴン・ジェイ・グールド／渡辺政隆 [訳]

断続平衡説の提唱で知られるグールドがカンブリア爆発から生物進化の本質に迫る。(田中)

---

## ドーキンス vs. グールド 適応へのサバイバルゲーム (ちくま学芸文庫)

キム・ステルレルニー／狩野秀之 [訳]

進化生物学の泰斗二人のあいだの論争を明解に紐解く。(田中)

---

## 古生物学 (東京大学出版会)

速水格

日本の古生物学界を牽引してきた著者がやさしい語り口で体系的に解説する。著者の研究者・教育者としての経験も披瀝され、古生物学の実践を肌で感じられる。(田中)

---

## ヒトのなかの魚、魚のなかのヒト

最新科学が明らかにする人体進化35億年の旅 (ハヤカワ文庫)

ニール・シュービン／垂水雄二 [訳]

海から陸への生物進化のミッシングリンクを発見したシュービンの本。進化発生学や古生物学など多岐にわたる生物学分野の成果を踏まえて生命進化を解き明かす。(森元)

---

## DNAから解き明かされる形づくりと進化の不思議 (羊土社)

Sean B. Carroll ほか／上野直人・野地澄晴 [監訳]

分子遺伝学と発生学の成果をもとに、生物の形づくりの進化を解説する。この本でツールキット遺伝子、ボディプラン、新奇性など生物学の主要概念を理解しよう。(森元)

---

---

## 生態進化発生学 エコ-エボ-デボの夜明け (東海大学出版部)

スコット・F・ギルバート、デイビッド・イーペル／正木進三・竹田真木生・田中誠二 [訳]

進化生物学、生態学、発生学を統合した分野の教科書。生物学の新たな流れが多様な事例を包み込む。(森元)

---

## エピジェネティクス 操られる遺伝子 (ダイヤモンド社)

リチャード・C・フランシス／野中香方子 [訳]

遺伝するのはDNAだけではない。エピジェネティクスの概要を学びながら遺伝の謎に迫ろう。(森元)

---

## 波紋と螺旋とフィボナッチ 数理の眼鏡でみえてくる生命の形の神秘 (学研メディカル秀潤社)

近藤滋

シマウマの縞は「波紋」である。生き物の模様や形を決める原理をユーモアに富んだ語り口で解説する科学者の奇妙な冒険。(田中)

---

## 失われてゆく、我々の内なる細菌 (みすず書房)

マーティン・J・ブレイザー／山本太郎 [訳]

巨生物たる我々人類は微生物との共生なくしては生きられない。微生物との共進化の歴史と現状を踏まえ、未来への警鐘を鳴らす。(田中)

---

## ウイルス・プラネット (飛鳥新社)

カール・ジンマー／今西康子 [訳]

細菌も重要だけどウイルスもね。ということで、生命の理解に不可欠なウイルスについての驚きの事実の数々を一般向けにわかりやすく解説してくれる一冊はこれ。(田中)

---

## 実在論と知識の自然化 自然種の一般理論とその応用 (勁草書房)

植原亮

新しい本質主義と実在論の立場から、生物だけでなく人工物や知識まで自然種であると論じる野心的な著作。(田中)

---

## 進化の弟子 ヒトは学んで人になった (勁草書房)

キム・ステレルニー／田中泉吏・中尾央・源河亨・菅原裕輝 [訳]

生物学の知見を心理学や人類学と総合して人類進化の謎に挑む、興奮と魅力に満ちた一冊。(田中)

---

[選書&紹介文] 森元良太&田中泉吏

※掲載された書誌情報に誤りがございましたら、悪しからずご了承ください。

また、出版社の事情により品切れ・絶版の可能性のある本も含まれています。

※リストの中には店頭でご準備のない書籍もございます(出版社に在庫があるものはお取り寄せいたします)。